（第3種郵便物認可）

中　日

中小ベア大手上回る

愛知企業　賃金格差　縮小続く

連合愛知は六日、二〇一八年春闘の三月末時点での回答集計を公表した。大手と中小の労組で賃金格差が縮小する傾向が続き、賃金水準を底上げするベースアップ（ベア）でも、中小が大手を逆転する動きが出ている。

（河原広明）

連合が集計

連合愛知
ATUC
三島 和

春闘の集計結果を発表する連合愛知の三島和弘事務局長＝名古屋市熱田区で

集計は要求書を提出した三百七十組合のうち三月末までに回答があった二百十九組合が対象。

組合員数三百人以上の大手労組と、三百人未満の中小労組の賃上げ率（定期昇給分含む）を比べると、大手と中小の差は〇・一八ポイントとなり、前年の〇・二一ポイントより縮小した。ベア分が明確に分かる百六十九組合で、大手百十六組合と中小五十三

円、〇・四五％を上回った。

三島和弘事務局長は「格差縮小の流れは続いている。人手不足で人材の確保や流出防止のために賃上げが必要という考えが経営側にもあり、中小にもその流れが広がっているのではないか」と分析した。

昨年と比較可能な百四十七組合をみると、定期昇給分を含む賃上げ額は五千八百三十一円、賃上げ率は2

強調した。回答のあった労組は大手や中堅が多く、中小労組の交渉は今後本格化する。

連合愛知は従来、組合員数を計算に反映させる「加重平均」で算出していたが、今回は各組合の賃上げ額を単純に足して平均値を出す「単純平均」に変更した。組合員数が多いトヨタ自動車がベア額を非公表としした影響などを考慮したという。

見模別の賃上げ率

	2017年		18年
	2.04%		1.86%
	1ポイント差	→	0.18ポイント差
	2.25%		2.04%
	2.02%		1.97%

3月末時点で集計（単純平均）

交通・運輸　前年超え多く

東海地方の非製造業の春闘では、人手不足が深刻な交通・運輸業界を中心に、前年超えの賃上げ回答が相次いだ。

三重交通（津市）は、前年を四百円上回る千円のベアを回答。労組の担当者は「今後の燃料高も予想される中、最大限の回答をもらった」と評価している。

西濃運輸（岐阜県大垣市）も、定期昇給などを含めた総額で前年を三百円上回った。増額の大半はベア分で、同社広報は「決算の内容や物流業界の状況などを総合的に判断した」と説明する。

小売り業界でもアルペン（名古屋市）は、前年を百円上回る千百円を回答している。

主な非製造業のベア回答

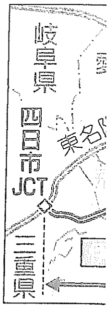
	回答額	要求額	前年実績との差
	1300	3000	300
道	0	6000	0
	1000	6000	400
	4900	8500	300
	2700	11000	569
ギフ	4258	11000	63
	1100	4300	100
リュ	2474	5064	▲314
	8136	9763	▲164
	2170	3500	▲5

マイナス。▨は定期昇給など
名鉄は若年層の賃金改善を実施

全国中小
2.06%賃上

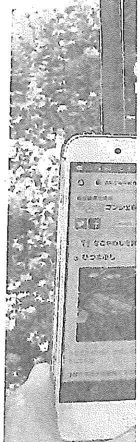
中

連合が六日発表
の中間集計による
給を底上げするベ
昇給を合わせた月
上昇幅は、組合員
未満の中小労組で
（五千百八十円）
た。人手不足など
なり、中間集計段
は一五年の2・08
百八十五円）以来の
準だった。最終集
に発表する。
四日までに回答
二千五百六十六組
した。三百人以上の
含む全体の上昇幅は
％（六千二百六十二
前年の中間集計を0
（百十五円）上回っ
連合が掲げた「
度」の賃上げには達
ないが、相原康伸事
は六日の記者会見で
げの勢いは衰えて



の三つの斜張橋「名港トリトン」で知られ、東西でつながる豊田東ジャンクショ

ス



スマートフ
報を配信す
街「サカエ

ロタの四本の柱に映像を流
ダイオード（LED）パネ
ンチを取り付けて装いを一
情報発信や交流の拠点を目